

令和3年度第2回 帯広市廃棄物減量等推進審議会 議事（概要）

- 1 開催期日 令和4年2月18日（金）書面開催
- 2 委員 有働あけみ委員、岡田美恵委員、兼子賢委員、河村知明委員、木川博史委員、今藤愛美委員、齊藤雅俊委員、佐々木愛紗委員、佐藤真理恵委員、鈴木大翼委員、鈴木信宏委員、高田眞紀子委員、高山なぎさ委員、中村浩和委員、牧村大造委員、水上秀子委員、三好来夢委員、渡邊芳之委員（18名）

3 議 事

(1) 協議事項

ア 令和4年度帯広市一般廃棄物処理実施計画（案）について

意見の概要	市の考え方
<p>10ページの(2)事業系ごみのところで、一般廃棄物処理業（収集・運搬）の許可に関する方針で、令和4年度から新規許可処分は行わないとあるが、影響はないのか。もう少し詳しい説明がほしい。</p> <p>見直し自体を否定するものではないが、一定の周知期間を設けた上で見直しするのが望ましいと考える。</p>	<p>帯広市内における一般廃棄物処理業者は、道内他市と比べて突出して多い状況で、帯広市の一般廃棄物の処理体制は、既存許可業者で十分足りているとの考えのもと、新規許可処分を行わないとするものです。</p> <p>ご意見のとおり一定の周知期間を経た上で見直しを行うこととし、令和4年度帯広市一般廃棄物処理実施計画（案）からは、削除します。</p>

(2) 報告事項

ア 帯広市一般廃棄物処理基本計画の実施状況について

意見の概要	市の考え方
<p>生ごみ堆肥化容器と電動生ごみ処理機が予算の上限に達したとのことですが、生ごみの減量につながるのと、もっと推進してほしい。</p>	<p>近年、電動生ごみ処理機の購入助成希望が増加するなかで、低価格な電動生ごみ処理機の機種が販売されていることから、令和3年度に1台あたりの助成上限を20,000円から15,000円に引き下げて助成件数を増やしました。</p> <p>生ごみの減量に関心が高まっている状況であり、今後もさらなる周知啓発を行い生ごみの減量に努めます。</p>

イ 有害危険ごみの無料収集について

意見の概要	市の考え方
<p>火災の原因となるライター類を有害危険ごみとして回収するのはとても良いことだと思います。</p>	<p>今後も、発火事故発生の危険性を減少させ、安心安全なごみ収集・処理体制の維持に努めます。</p>
<p>小型充電式電池も火災の原因となるとは知らなかったもので、有害危険ごみとして回収するのは良い事だと思いますが、回収対象のものなど複雑なので、分かりやすい広報をお願いします。</p>	<p>近年、リチウムイオン電池等が原因とみられる収集車両やごみ処理施設での発火事故が増加しています。委員のご意見を踏まえ、広報おびひろなどでの分かりやすい情報提供に努め、周知啓発を行います。</p>